

平成22年度 12月号



# 二中だより



◆校訓 まごころ

◆学校教育目標 明朗 向上 自主・自立  
《40周年テーマ 伝統と誇りある学校の創造》

新座市立第二中学校  
新座市野火止7-17-10  
☎ 048(477)1212

## 伝統と誇りを胸に 日本一の学校をめざして

校長 森田和憲

11月26日 晴天に恵まれ、市長様をはじめ多くのご来賓をお迎えし、第二中学校創立40周年式典を執り行うことができました。

「伝統と誇りある学校の創造」というテーマにふさわしい、すばらしい式典になりました。

ご来賓のみなさんからは、「よき伝統を継承し新たな伝統を作っていくしてほしい」「二中の生徒であることを誇りにしてほしい」というお言葉をいただきました。また、「日本一の中学校を目指してほしい」という言葉をいただきました。

### 40年の歴史の重み

今から、40年前、昭和46年4月1日、第二中学校は野火止の地に新座市で2校目の中学校として開校いたしました。

当時は1・2年生合計生徒数412名プレハブ2階建ての校舎でスタートを切りました。新しい校舎への移転が完了した日にちなみ11月27日を開校記念日としました。

40年の歴史を経て、本校の保護者の中にも、本校の卒業生であるという方が多くいらっしゃる伝統ある学校になりました。

この40年間に、12,082名の優秀な卒業生を送り出し、真剣に学習に取り組む姿勢、学校行事での主体的で活力ある活動、努力を積み上げ多くの成果を上げている部活動などよき伝統が築き上げられてきました。

昭和52年に男子バスケットボール部の日本一、陸上競技部は全国大会に何度も選手を送り出しました。吹奏楽部の東日本大会出場、平成19年のサッカー部全国大会出場、県大会には毎年多くの部活動が出場し、第二中学校の名を、埼玉県、全国に轟かせました。

### やっぱり二中の誇りは生徒です

記念式典は素晴らしい式典になりました。国歌、校歌、合唱、話を聞く態度共にたいへんすばらしく、ご来賓いただいたご来賓の方々から

口々に「すばらしい生徒たちですね」「歌声がすばらしい」とお褒めの言葉をいただきました。

それは、参加している生徒がすばらしい態度で臨めたからです。

市内音楽祭でも、合唱祭で金賞のクラスが代表として参加し、演奏を行いました。二中の歌声は、男女ともに大変よくそろっている素晴らしい合唱でした。

二中の生徒たちの歌声は、まさに日本一だと誇りに思っています。ぜひ、日本一の歌声がひびく学校として誇れる学校にしていきたいです。

記念事業を実施するにあたり、PTAのご支援をいただき、記念誌、記念ファイルを作成し、生徒に配布しました。ぜひご覧ください。また、式典第2部では、ウーロン亭ちゃ太郎氏をお招きし、ご講演をいただきました。PTAの多くのご支援ありがとうございました。

記念事業実行委員会の皆様には、準備、計画、実施にわたりご協力ありがとうございました。

### 全校朝会のお話から

#### 「四知」

古代中国の楊震という高官のもとに、ある夜、お金を届けに来た男がいました。男は、「誰も知る人はいませんから。」と賄賂（わいろ）を取り出して、渡そうとすると楊震は言いました。「天が知っている。地が知っている。私が見知っているし、君も知っている。知る者がいないなど とんでもない！」こう言われた男は、たいそう恥じてその場を去りました。

この楊震の言葉「天知る、地知る、我知る、人知る」を四知と言います。誰も知らないと思っても、自分以外に知っている人が必ずいるものなのです。

「正直、誠実に生きること」これは何事にも代えられない大切な生き方です。さらにすばらしい二中生であるために、この言葉をいつも心にとめておいてほしいと思います。

